

14 JAN 2005

特 許 協 力 条 約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT 36条及びPCT規則70]

REC'D 29 JUL 2004

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 02-F-047PCT	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JPO3/08969	国際出願日 (日.月.年) 15.07.2003	優先日 (日.月.年) 15.07.2002	
国際特許分類(IPC) Int.Cl. ⁷ C04B26/06, C04B20/00, B29C39/10, E04F13/08 // C04B111:54			
出願人(氏名又は名称) 株式会社アベイラス			

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT 36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

☒ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で 2 ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- I ☒ 国際予備審査報告の基礎
- II ☐ 優先権
- III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV ☐ 発明の単一性の欠如
- V ☒ PCT 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ☐ ある種の引用文献
- VII ☐ 国際出願の不備
- VIII ☐ 国際出願に対する意見

EPO-DS1

13. 03. 2004

国際予備審査の請求書を受理した日 12.12.2003	国際予備審査報告を作成した日 07.07.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JPO) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 永田 史泰	4T	3029
電話番号 03-3581-1101 内線 3463			

様式PCT/IPEA/409(表紙)(1998年7月)

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 1-16 ページ、出願時に提出されたもの
明細書 第 _____ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書 第 _____ ページ、 _____ 付の書類と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 _____ 項、出願時に提出されたもの
請求の範囲 第 _____ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
請求の範囲 第 _____ 項、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
請求の範囲 第 1,5-8,10 項、 24.05.2004 付の書類と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1-12 図、出願時に提出されたもの
図面 第 _____ ページ/図、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
図面 第 _____ ページ/図、 _____ 付の書類と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 _____ 付の書類と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 2-4,9 項
☐ 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1,5-8,10	有
	請求の範囲		無
進歩性(IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1,5-8,10	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1,5-8,10	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: EP 905102 A1 (DOPPEL CO. LTD.) 1999.03.31

請求の範囲, [0011]-[0014], [0021]-[0032], [0052], [0055], [0069]-[0070]
& WO 98/39268 A1, 請求の範囲, 第3頁第23行目-第4頁第17行目,
第6頁第4行目-第8頁第7行目, 第11頁第16-22行目, 第12頁第4-6行目,
第14頁第6-11行目

文献2: JP 8-267666 A (株式会社スリーボンド) 1996.10.15

図面(ファミリーなし)

文献3: JP 2-98406 A (株式会社竹中工務店) 1990.04.10

特許請求の範囲, 第3頁右下欄第3行目-第4頁右上欄第7行目, 第1図
(ファミリーなし)

請求の範囲1, 5-8, 10に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1-3より進歩性を有しない。

文献1には、5-70メッシュの透明性無機質細粒成分と、100メッシュアンダーの無機質微粒成分および蓄光性微粒成分と、樹脂成分とを含有し、細粒成分と微粒成分の重量比が1:2-5:1の範囲である人造石(引用発明)が記載されている。

文献1には人造石の硬化収縮率や密度の具体的な値は記載されていないが、引用発明と本願発明は組成が略同一であるから、硬化収縮率や密度といった物性値も同程度の値を有するものと認められる。

したがって、引用発明と本願発明とを対比すると、引用発明は壁面取り付け用の支持体をもたない点で相違する。

上記相違点について検討するに、文献2には、人造石にアンカー部材を埋め込むことが記載されており、また、文献3には、インサート金具を上型と共に押圧して、プレキャスト板に埋設一体化成形する技術が記載されている。

また、アンカー部材を埋設一体化する際の体積率や埋設深さ、および押圧圧力は、当業者が適宜設定しうる程度の設計的事項にすぎず、本願発明が、これらの値を特定することによって格段の効果を奏するものであるとも認められない。

よって、上記相違点は、文献2, 3記載の技術を引用発明に適用したものであって、当業者が容易になし得た公知技術の転用である。

補充欄 (いずれかの欄の大きさが足りない場合に使用すること)

第 V 欄の続き

なお、請求の範囲7について、文献1に、引用発明の表面を粗面化することが示されている以上、1-100mmという本願発明の数値限定では、両者に差異が生じるとは認められない。

また、請求の範囲10について、アグリルポリマーとモノマーを混合したアクリルシラップは、人造石の樹脂バインダーとして当業者に一般的に用いられているものである。

請求の範囲

1. (補正後) 9.5 mm～180 μ mの範囲の大きさの無機質細粒成分と180 μ m未満の大きさの無機質微粒成分並びに全体量の7～30重量%の範囲の樹脂成分が配合され、前記の無機質細粒成分：無機質微粒成分の重量比が1：1～5：1の範囲にある組成を有する人造石において、人造石の組成は、硬化収縮率が0.3%以下、かつ、硬化後の密度が2.0～2.8 g/cm³の範囲のものであり、その裏面側および小口面側の少くともいずれかに、壁面取付用の支持体が、体積率で80%以下、その深さとして全厚の80%以下埋設されていることを特徴とする人造石壁パネル。

2. (削除)

3. (削除)

4. (削除)

5. (補正後) 支持体は金属製金具であることを特徴とする請求項1の人造石壁パネル。

6. (補正後) 無機質細粒成分のうちの少くとも5重量%が透明性の無機質成分であることを特徴とする請求項1または5のいずれかの人造石壁パネル。

7. (補正後) 請求項1、5または6のいずれかの人造石壁パネルであって、表面には、1～100 mmの範囲の深さ(高さ)の凹凸を有していることを特徴とする人造石壁パネル。

8. (補正後) 人造石壁パネルの製造方法であって、9.5 mm～180 μ mの範囲の大きさの無機質細粒成分と180 μ m未満の大きさの無機質微粒成分並びに全体量の7～30重量%の範囲の樹脂成分が配合され、前記無機質細粒成分：無機質微粒成分の重量比が1：1～5：1の範囲にある組成を有する混合物を成形下型に充填し、壁面取付用の支持体を成

形上型とともに $1\text{ N/cm}^2 \sim 100\text{ N/cm}^2$ の加圧力で押圧して、人造石壁パネルの裏面側および小口面側の少くともいずれかに、該支持体が、体積率で80%以下、その深さとして全厚の80%以下埋設されるように埋設一体化成形することを特徴とする人造石壁パネルの製造方法。

9. (削除)

10. (補正後) 樹脂成分は、モノマー、オリゴマーおよびポリマーのうちの2種以上の混合物として充填することを特徴とする請求項8の人造石壁パネルの製造方法。

14 JAN 2005

PCT/JP2003/008969



PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)

Translation

Applicant's or agent's file reference 02-F-047PCT	FOR FURTHER ACTION See Notification of Transmittal of International Preliminary Examination Report (Form PCT/IPEA/416)	
International application No. PCT/JP2003/008969	International filing date (day/month/year) 15 July 2003 (15.07.2003)	Priority date (day/month/year) 15 July 2002 (15.07.2002)
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC C04B 26/06, 20/00, B29C 39/10, E04F 13/08 // C04B 111:54		
Applicant AVAILVS CORPORATION		

1. This international preliminary examination report has been prepared by this International Preliminary Examining Authority and is transmitted to the applicant according to Article 36.

2. This REPORT consists of a total of 5 sheets, including this cover sheet.

☒ This report is also accompanied by ANNEXES, i.e., sheets of the description, claims and/or drawings which have been amended and are the basis for this report and/or sheets containing rectifications made before this Authority (see Rule 70.16 and Section 607 of the Administrative Instructions under the PCT).

These annexes consist of a total of 2 sheets.

3. This report contains indications relating to the following items:

- I ☒ Basis of the report
- II ☐ Priority
- III ☐ Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability
- IV ☐ Lack of unity of invention
- V ☒ Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement
- VI ☐ Certain documents cited
- VII ☐ Certain defects in the international application
- VIII ☐ Certain observations on the international application

Date of submission of the demand 12 December 2003 (12.12.2003)	Date of completion of this report 07 July 2004 (07.07.2004)
Name and mailing address of the IPEA/JP	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP2003/008969

I. Basis of the report

1. With regard to the elements of the international application:*

- ☐ the international application as originally filed
- ☒ the description:
 pages 1-16, as originally filed
 pages _____, filed with the demand
 pages _____, filed with the letter of _____
- ☒ the claims:
 pages _____, as originally filed
 pages _____, as amended (together with any statement under Article 19
 pages _____, filed with the demand
 pages 1, 5-8, 10, filed with the letter of 24 May 2004 (24.05.2004)
- ☒ the drawings:
 pages 1-12, as originally filed
 pages _____, filed with the demand
 pages _____, filed with the letter of _____
- ☐ the sequence listing part of the description:
 pages _____, as originally filed
 pages _____, filed with the demand
 pages _____, filed with the letter of _____

2. With regard to the language, all the elements marked above were available or furnished to this Authority in the language in which the international application was filed, unless otherwise indicated under this item.

These elements were available or furnished to this Authority in the following language _____ which is:

- ☐ the language of a translation furnished for the purposes of international search (under Rule 23.1(b)).
- ☐ the language of publication of the international application (under Rule 48.3(b)).
- ☐ the language of the translation furnished for the purposes of international preliminary examination (under Rule 55.2 and/or 55.3).

3. With regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application, the international preliminary examination was carried out on the basis of the sequence listing:

- ☐ contained in the international application in written form.
- ☐ filed together with the international application in computer readable form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in written form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in computer readable form.
- ☐ The statement that the subsequently furnished written sequence listing does not go beyond the disclosure in the international application as filed has been furnished.
- ☐ The statement that the information recorded in computer readable form is identical to the written sequence listing has been furnished.

4. ☒ The amendments have resulted in the cancellation of:

- ☐ the description, pages _____
- ☒ the claims, Nos. 2-4, 9
- ☐ the drawings, sheets/fig _____

5. ☐ This report has been established as if (some of) the amendments had not been made, since they have been considered to go beyond the disclosure as filed, as indicated in the Supplemental Box (Rule 70.2(c)).**

* Replacement sheets which have been furnished to the receiving Office in response to an invitation under Article 14 are referred to in this report as "originally filed" and are not annexed to this report since they do not contain amendments (Rule 70.16 and 70.17).

** Any replacement sheet containing such amendments must be referred to under item 1 and annexed to this report.

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.
PCT/JP 03/08969

V. Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement

1. Statement

Novelty (N)	Claims	1, 5-8, 10	YES
	Claims		NO
Inventive step (IS)	Claims		YES
	Claims	1, 5-8, 10	NO
Industrial applicability (IA)	Claims	1, 5-8, 10	YES
	Claims		NO

2. Citations and explanations

Document 1: EP 905102 A1 (Doppel Co., Ltd.), 31 March 1999, claims, paragraphs [0011] to [0014], [0021] to [0032], [0052], [0055], [0069] to [0070] & WO 98/39268 A1, claims, page 3, line 23 to page 4, line 17; page 6, line 4 to page 8, line 7; page 11, lines 16 to 22; page 12, lines 4 to 6; page 14, lines 6 to 11

Document 2: JP 8-267666 A (Three Bond Co., Ltd.), 15 October 1996, drawings (Family: none)

Document 3: JP 2-98406 A (Takenaka Corporation), 10 April 1990, claims; page 3, lower right column, line 3 to page 4, upper right column, line 7; fig. 1 (Family: none)

The inventions set forth in claims 1, 5 to 8 and 10 do not involve an inventive step in the light of documents 1 to 3 cited in the international search report.

Document 1 sets forth artificial stone (cited invention) containing a 5-to 70-mesh-transparent inorganic ultra-fine particulate component, an inorganic ultra-fine particulate component and a 100-mesh-through noctilucent particulate component, and a resin component, wherein the ratio of fine particulate component to ultra-fine particulate component by weight falls within the range 1:2 to 5:1.

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP 03/08969

Document 1 does not disclose specific values for the hardening shrinkage rate or the density of artificial stone, but the composition of the cited invention and the invention of this application are roughly the same, therefore the physical values such as hardening shrinkage rate and density are understood to be approximately the same.

Therefore, comparing the cited invention and the invention of this application, the cited invention is different in the feature that said invention does not have a support for wall-mounting.

Examining the aforementioned difference, document 2 indicates that an anchor member is embedded in the artificial stone, and document 3 sets forth a feature wherein an insert mounting bracket is pushed in together with the upper mold, to be integrally embedded in the precast plate.

In addition, the area ratio, depth of embedding and pushing pressure when embedding an anchor member are merely design features which could be determined as necessary by a person skilled in the art, and the invention of this application is not acknowledged to offer any special effect by specifying these values.

Therefore the aforementioned difference is obtained by applying the feature described in documents 2 or 3 to this invention, and constitutes the application of a known feature which could be easily accomplished by a person skilled in the art.

With regard to claim 7, document 1 indicates that the surface of the cited invention is roughened, therefore the numerical delimitation of the invention of this application of 1 to 100mm is not acknowledged to generate a difference between the two inventions.

With regard to claim 10, acrylic syrup obtained by mixing acrylic polymer and monomer would be commonly used

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP 03/08969

by a person skilled in the art as a resin binder for
artificial stone.